

どんぐりっ子の森戦略

「多様な生物がいのちを育む森づくり」プロジェクト2012

内橋欣司（北はりま地域づくり応援団）

はじめに・・・

北はりま地域づくり応援団は、北播磨地域の住民活動に対し、住民の自立と族創性を確保し、住民自身が担い手となり、行政とのパートナーシップを築きながら継続的な活動と「参画と協働」の推進を図る為、北播磨地域の住民・グループ・団体により行われる様々な活動に対し、その活動が安定し、運営して行けるような協力、情報の提供、ネットワーク等をサポートする事を目的として、2004年4月に設立しました。

2005年4月に、加東市嬉野台の一角に、どんぐりっ子の森を開場し、自然体験活動・環境学習活動・森林保全活動の三本柱を基に活動を展開しております。



「どんぐりっ子の森の目的・趣旨」

どんぐりっ子の森の「自然体験環境活動」は、子ども達が自然の中で、遊び、学びながら、自然への理解を深め、自然を大切にする気持ちを育むと共に、「生きる力を育み」いのちの大切さを学び人と人・人と自然とのつながりを学習するところです。どんぐりっ子の森では「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、冒険心や好奇心を大切にす為、子ども達がいろいろな遊びを通して、のびのび生き生きと楽しめるあそび場と五感を使って（見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる）自然の中で感動体験が出来る「自然体験環境活動」を展開していきます。又、どんぐりっ子の森では、エコエネルギーで資源循環型の森づくりをしながら、森に負荷を掛けない活動を展開して行きます。

どんぐりっ子の森戦略「多様な生物がいのちを育む森づくり」プロジェクト2012

気候変動による地球温暖化が進行し、森を取り巻く環境も大きく変わって来ている状況を感じ2010年から5年間、どんぐりっ子の森戦略「多様な生物がいのちを育む森づくり」プロジェクトを開始しました。1年目は森の動植物を観察調査し、どんぐりっ子の森にどれくらいの動植物が生息しているかを記録し写真等に撮り、森の大型パネルに展示、基本ベースを制作しました。

又、子ども達は「森のなかまを見つけようカード」を携帯、森の中で、自分達の目線で観察し、森の中にいろいろな動植物が生息しているのを発見しました。夏休みには、森のひみつを知ろう学習会を開催、森のしくみ・昆虫・動物・野草・樹木等を学習し、森が多様な生物がいのちを育む森であることを学びました。



2年目にあたる今年、どんぐりっ子の森を豊かな森にする目的で、冬場の森づくり活動から始めました。林床にはネザサ、コシダ、ゼンマイ等のシダ類が蜜生しており、鎌等を使って下刈り作業を行ないました。

低木林のヒサカキ、ネズミモチ、ヒイラギ、アセビ等の照葉樹が繁茂し、ツツジ類や草本類などが消滅する原因に成っている事を踏まえ、間引きや剪定作業を行い、クヌギ・コナラを間伐し、太陽の光が入るようにしました。

クヌギ等の間伐材には、キノコ菌を植えました。



森を豊かにする為、
実の成る樹木を植樹し、
休耕地に花の種子を蒔き
森の環境整備を行いました。

春には森の至る所で花が咲きます。森のどの場所でどのような種類の花が咲いているのかを調査しました。冬場の整備の成果か今年新たなカキランの群生も見られました。キンランがギンランに変身？ 去年は確かにキンランだった所に白いランが、これはギンラン？

春の訪れとともにギフチョウが飛び、オオスズメバチの雌も、羽音をたて飛びまわります。小川には魚達も泳ぎだし、森は多様ないのちが育む場所である事を感じました。



6月になると、ホタルが飛び交い、幻想的な世界を作ってくれます。源氏ホタル・姫ホタル・マドホタルの3種類のホタルが生息し、秋口までマドホタルを観察する事が出来ます。

7月中頃にはセミの鳴き声が響き渡り、カブトムシ、クワガタなど夏の虫達が動き始めます。自然とふれあう最高の時期になります。夏休みには、多くの子ども達が自然体験環境活動を展開します。自然観察会を始め、昆虫採集会・水中生物調査会・樹木・野草・森づくり活動等。講師先生を招いての学習会を開催し、人と自然とのつながりの大切さを学習しました。森の整備が進み、小鳥やイタチ・ウサギ・イノシシ等が現れる様に成り、森が形成されてきました。池にも、多くのいのちが生まれていました。



まとめ

森が明るくなり、前年よりギフチョウが多く飛びました。キンラン・イチヤクソウも、多くの場所で見られるようになりました。

湿地の整備が良かったのか、カキランを初めて確認しました。アギナシも株が増えてきました。

前年、成長する前に枯れてしまった、アキノギンリョウソウ、花の時期は10月と遅かったがいつもと違う場所にも確認できました。ヒナノシヤクジョウも2か所で確認。ササユリ、ミヤマウズラの花が少なかったのは、天候のせいでしょうか？葉は出ているのに花目が出てきませんでした。

森づくり活動は、一度や二度の整備活動をすれば良いものでは有りません。5年10年の長期スパンで活動をする事により、少しずつ豊かな森に変わって行くと考えています。

今後も、子ども達・地域みなさんと共に豊かな森を作って行きます。